

<ジーコム独自調査レポート No.132>

# 2020年の暮らし向きと景気予想

## 福岡県居住者の暮らし向きに関する調査

2020年1月

# 調査概要

## 1. 調査方法

弊社アンケートモニター「コムネット」登録者に対するインターネット調査

## 2. 調査対象

福岡県在住の20歳以上の男女

## 3. 調査時期

2019年12月6日（金）～12月13日（金）

## 4. 調査規模

449サンプル

### 【標本構成】

■性	件数	構成比(%)
男性	193	43.0
女性	256	57.0
全体	449	100.0

■年齢	件数	構成比(%)
20代	49	10.9
30代	100	22.3
40代	100	22.3
50代	100	22.3
60代以上	100	22.3
全体	449	100.0

■未既婚	件数	構成比(%)
未婚	114	25.4
既婚	335	74.6
全体	449	100.0

■職業	件数	構成比(%)
会社員	145	32.3
公務員	13	2.9
団体職員・病院勤務	13	2.9
経営者・会社役員	9	2.0
派遣社員・契約社員	22	4.9
商工自営	20	4.5
農林漁業	1	0.2
自由業	4	0.9
学生	8	1.8
パート・アルバイト	66	14.7
専業主婦(主夫)	104	23.2
無職	40	8.9
その他	4	0.9
全体	449	100.0

■居住地	件数	構成比(%)
福岡市	254	56.6
福岡市以外都市圏	99	22.0
その他福岡県	96	21.4
全体	449	100.0

■世帯年収	件数	構成比(%)
200万円未満	20	4.5
200～300万円未満	58	13.2
300～400万円未満	52	11.8
400～500万円未満	54	12.2
500～600万円未満	36	8.2
600～700万円未満	55	12.5
700～800万円未満	40	9.1
800～900万円未満	16	3.6
900～1000万円未満	15	3.4
1000～1500万円未満	33	7.5
1500万円以上	5	1.1
わからない	57	12.9
全体	441	100.0

\* 学生除く

### 【報告書の見方】

- ・本文及び図中に示した調査結果の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合や合計値に誤差が生じる場合がある。
- ・複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ・報告書中の図表では、コンピューター入力の場合、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

# 1. 暮らし向きの変化

暮らし向き判断指数は、前年からさらに減少し、2015年調査以来のマイナスを記録。

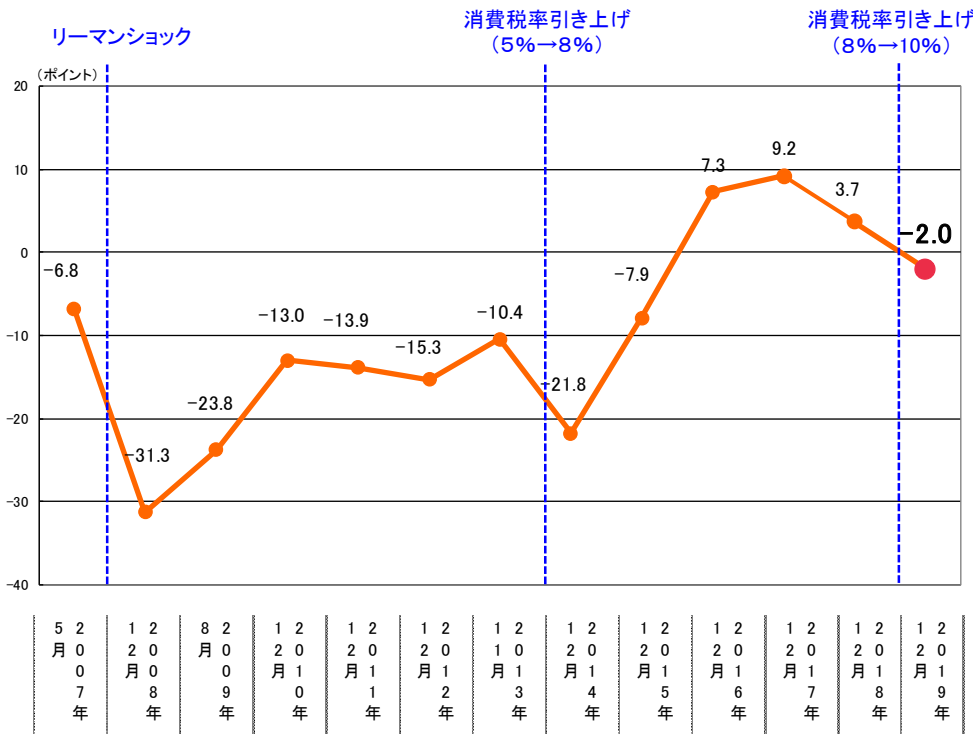
1年前と比べ暮らし向きが「良くなった」「どちらかという良くなった」と回答した割合から、「悪くなった」「どちらかという悪くなった」と回答した割合を減じた『暮らし向き判断指数』は、-2.0ポイント。前年の3.7ポイントから減少した。

- ・性別では、男性は女性に比べて暮らし向き判断指数が低い。
- ・年代別に見ると、年代が上がるにつれて暮らし向き判断指数が低くなり、20代と60代以上とでは40ポイント以上の開きがある。また、前年調査と比べて、20代の暮らし向き判断指数は27ポイント減少した。
- ・世帯年収別に見ると、300万円未満層は他の層に比べて暮らし向き判断指数が低く、前年調査から25ポイント減少した。

◆ 1年前と比べた暮らし向きの変化【単一回答】

◆ 暮らし向き判断指数の推移

	調査数	【%】					【%】		【ポイント】	
		良くなった	どちらかという良くなった	どちらかという悪い	悪くなった	悪くなった	肯定層	否定層	暮らし向き判断指数	暮らし向き判断指数
全体	449	5.6	15.1	56.6	16.7	6.0	20.7	22.7	-2.0	3.7
性別										
男性	193	2.6	13.0	61.1	16.1	7.3	15.5	23.3	-7.8	-5.5
女性	256	7.8	16.8	53.1	17.2	5.1	24.6	22.3	2.3	12.0
年代別										
20代	49	18.4	16.3	49.0	10.2	6.1	34.7	16.3	18.4	45.0
30代	100	11.0	22.0	45.0	14.0	8.0	33.0	22.0	11.0	18.0
40代	100	4.0	20.0	55.0	18.0	3.0	24.0	21.0	3.0	-7.0
50代	100	1.0	16.0	60.0	18.0	5.0	17.0	23.0	-6.0	-1.0
60代以上	100	0.0	2.0	70.0	20.0	8.0	2.0	28.0	-26.0	-20.0
世帯年収別										
300万円未満	78	6.4	6.4	50.0	17.9	19.2	12.8	37.2	-24.4	1.3
300～500万円未満	106	5.7	12.3	55.7	17.9	8.5	17.9	26.4	-8.5	-5.2
500～700万円未満	91	5.5	20.9	56.0	16.5	1.1	26.4	17.6	8.8	22.1
700～900万円未満	56	8.9	21.4	53.6	12.5	3.6	30.4	16.1	14.3	5.1
900万円以上	53	5.7	18.9	62.3	13.2	0.0	24.5	13.2	11.3	6.3



\* 肯定層＝「良くなった」+「どちらかという良くなった」  
 否定層＝「悪くなった」+「どちらかという悪くなった」  
 暮らし向き判断指数＝肯定層-否定層

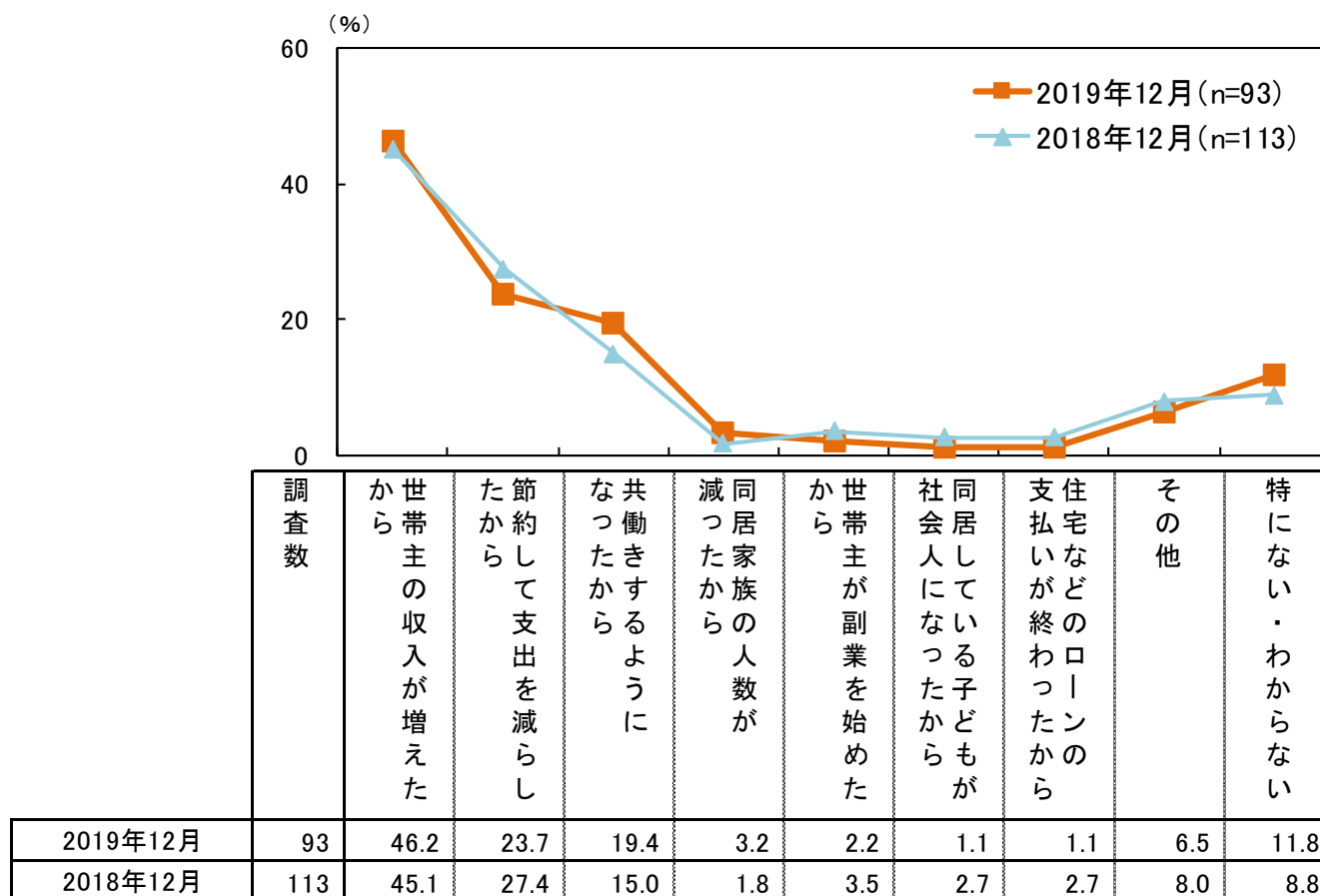
## 2. 暮らし向きが良くなった理由 ※暮らし向き肯定層限定

暮らし向きが良くなった理由は、「世帯主の収入増」が引き続きトップ。「共働き」の割合が、前回調査からやや増加した。

1年前と比べて、暮らし向きが「良くなった」「どちらかという良くなった」と回答した人にその理由を聞いたところ、「世帯主の収入が増えたから」の割合が46.2%で最も高く、次いで「節約して支出を減らしたから」23.7%、「共働きするようになったから」19.4%の順であった。

・サンプル数が少ないため、属性別の分析は省略した。

◆暮らし向きが良くなった理由【複数回答】



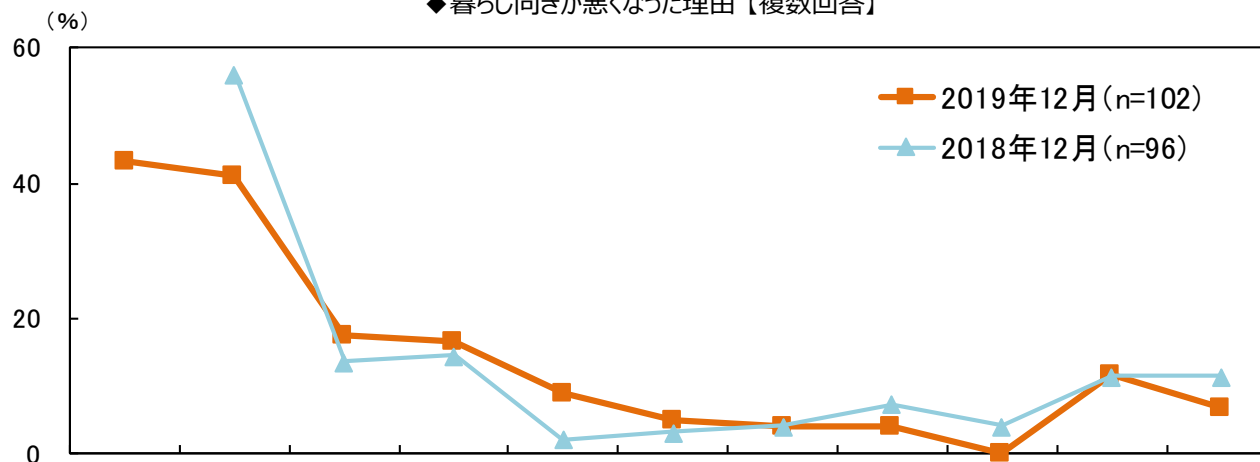
### 3. 暮らし向きが悪くなった理由 ※暮らし向き否定層限定

#### 「世帯主の収入減」を抑え、消費増税が暮らし向き悪化の要因トップ。

1年前と比べて、暮らし向きが「悪くなった」「どちらかという悪くなった」と回答した人にその理由を聞いたところ、「消費税率が上がったから」の割合が43.1%で最も高く、次いで「世帯主の収入が減ったから」41.2%、「家族の病気治療や介護が必要になったため」17.6%の順であった。

・サンプル数が少ないため、属性別の分析は省略した。

◆暮らし向きが悪くなった理由【複数回答】



調査数	消費税率が上がったから	世帯主の収入が減ったから	家族の病気治療や介護が必要になったため	教育費が増えたから	共働きをやめたから	別居している家族への仕送りが必要になったから	同居家族の人数が増えたから	住宅などのローンの支払いが始まった（増えた）から	世帯主が副業をやめたから	その他	特にない・わからない	
2019年12月	102	43.1	41.2	17.6	16.7	8.8	4.9	3.9	3.9	0.0	11.8	6.9
2018年12月	96		56.3	13.5	14.6	2.1	3.1	4.2	7.3	4.2	11.5	11.5

## 4. 2020年の暮らし向き予想

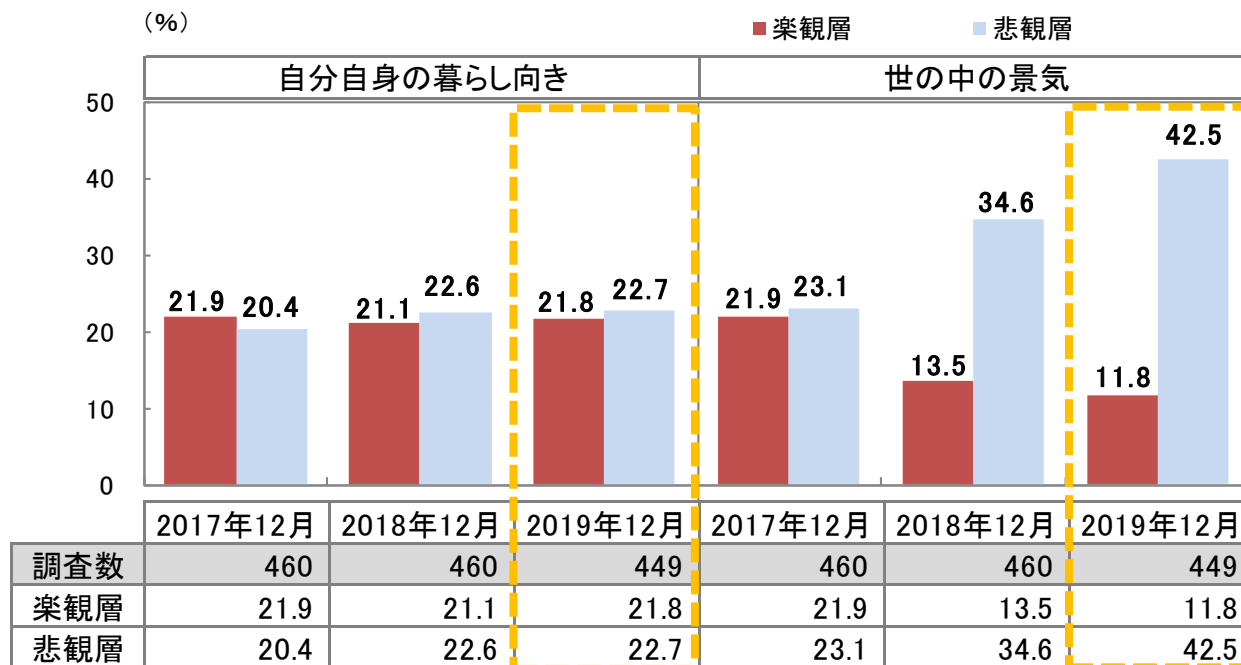
### 自分自身の暮らし向き予想は変化がないものの、世の中の景気を悲観する割合がさらに増加。

2020年の『自分自身の暮らし向き』について、「良くなる」「どちらかという良くなる」と回答した楽観層の割合は21.8%、「悪くなる」「どちらかという悪くなる」と回答した悲観層の割合は22.7%であり差はない。過去2回の調査と比べて大きな変化はなかった。

また、2020年の『世の中の景気』については、楽観層の割合は11.8%、非観層の割合は42.5%となっており、前回調査と比べて悲観層が増加した。

- ・性別では、大きな差は見られない。
- ・年代別に見ると、30代以下は自分自身の暮らし向きで、楽観層の割合が他の年代に比べて高い。また、60代以上は自分自身の暮らし向き、世の中の景気ともに、悲観層の割合が他の年代に比べて高く、世の中の景気の悲観層の割合は半数を超えている。
- ・世帯年収別では、300～500万円未満層は自分自身の暮らし向きで悲観層の割合が他の層に比べて高い。

◆2020年の暮らし向き予想【単一回答】  
\*楽観層と悲観層抜粋



\*楽観層＝「良くなる」+「どちらかという良くなる」、悲観層＝「悪くなる」+「どちらかという悪くなる」

## ◆2020年の自分自身の暮らし向き予想【単一回答】

## ◆2020年の世の中の景気予想【単一回答】

		調査数	【%】				【%】		
			良くなる	どちらかという 良くなる	どちらともいえない	悪くなる どちらかという と	悪くなる	楽観層	悲観層
全体		449	5.6	16.3	55.5	17.1	5.6	21.8	22.7
性別	男性	193	4.7	14.5	57.0	19.2	4.7	19.2	23.8
	女性	256	6.3	17.6	54.3	15.6	6.3	23.8	21.9
年代別	20代	49	18.4	14.3	59.2	6.1	2.0	32.7	8.2
	30代	100	8.0	28.0	53.0	7.0	4.0	36.0	11.0
	40代	100	4.0	21.0	56.0	12.0	7.0	25.0	19.0
	50代	100	4.0	11.0	53.0	24.0	8.0	15.0	32.0
	60代以上	100	0.0	6.0	58.0	31.0	5.0	6.0	36.0
世帯年収別	300万円未満	78	6.4	14.1	51.3	17.9	10.3	20.5	28.2
	300～500万円未満	106	4.7	12.3	49.1	25.5	8.5	17.0	34.0
	500～700万円未満	91	7.7	22.0	54.9	12.1	3.3	29.7	15.4
	700～900万円未満	56	5.4	23.2	48.2	19.6	3.6	28.6	23.2
	900万円以上	53	3.8	15.1	66.0	13.2	1.9	18.9	15.1

		調査数	【%】				【%】		
			良くなる	どちらかという 良くなる	どちらともいえない	悪くなる どちらかという と	悪くなる	楽観層	悲観層
全体		449	2.0	9.8	45.7	35.0	7.6	11.8	42.5
性別	男性	193	3.1	10.4	42.0	35.2	9.3	13.5	44.6
	女性	256	1.2	9.4	48.4	34.8	6.3	10.5	41.0
年代別	20代	49	6.1	12.2	51.0	24.5	6.1	18.4	30.6
	30代	100	3.0	12.0	56.0	23.0	6.0	15.0	29.0
	40代	100	1.0	7.0	47.0	37.0	8.0	8.0	45.0
	50代	100	2.0	9.0	42.0	40.0	7.0	11.0	47.0
	60代以上	100	0.0	10.0	35.0	45.0	10.0	10.0	55.0
世帯年収別	300万円未満	78	2.6	12.8	37.2	32.1	15.4	15.4	47.4
	300～500万円未満	106	3.8	5.7	45.3	38.7	6.6	9.4	45.3
	500～700万円未満	91	0.0	7.7	60.4	25.3	6.6	7.7	31.9
	700～900万円未満	56	0.0	14.3	41.1	41.1	3.6	14.3	44.6
	900万円以上	53	3.8	11.3	37.7	43.4	3.8	15.1	47.2

\* 楽観層＝「良くなる」+「どちらかというと良くなる」、悲観層＝「悪くなる」+「どちらかというと悪くなる」

発行元：株式会社ジーコム

福岡市中央区天神4丁目1-1 第7明星ビル7F

TEL 092-761-0221

FAX 092-761-0228

URL : <http://www.gcom-net.co.jp/>

E-mail : [inq@gcom-net.co.jp](mailto:inq@gcom-net.co.jp)